

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス第3ある松江		
○保護者評価実施期間	令和6年 11月 6日		～ 令和6年 12月 6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17 (回答者数)	16
○従業者評価実施期間	令和6年 11月 15日		～ 令和6年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 12月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童一人ひとりとのコミュニケーションを大切にしたい関りができる。	1対1のかかわりを大切にし個別の担当制を取り入れている。	引き続き職員間で連携を取りながら、一人ひとりとの関りを大切にしたい支援をしていく。
2	クールダウンに利用できる部屋があり、情緒の安定を図りながら過ごすことができる環境がある。	カーテン等の仕切りや、机、椅子を設置している。	子どもたちの情緒が安定するような環境構成への理解と取り組みを考えていく。
3	日々の支援の振り返りを行い、職員間で共有している。	個別支援計画、個別記録等を用いて情報共有をしている。	日々のミーティングで職員間で情報の共有を行いながら、連携を図るようにしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	室内では範囲が限られているため、活動内容の充実が難しい。	活動に必要な部屋数や面積の確保が十分かどうか。	活動内容に合わせ、十分な活動面積の確保について考えていきたい。
2	室内遊具やおもちゃ等の機能性や安全面についてその都度確認をしているが、数量や内容など個々のニーズに合わせた物が揃えられているかどうか。	個々に対応した遊具の状態や数量などが十分に確保されているかどうかの確認の必要性を感じている。	定期的な安全点検の実施や、個々のニーズに合わせた遊具等の充実について考えていきたい。
3	近隣での外出活動の場が限られており、充実した社会体験のできる場が少なく感じている。	子どもたちの興味を引き出せるような体験のできる場所が少ないと感じている。	様々な情報手段を活用し、職員間でも意見を出し合いながら活動の充実を図っていきたい。